

# 流力ANSS後刷論文集 執筆テンプレート

宇宙花子（宇宙航空研究開発機構）， 航空太郎（宇宙大学）

## Title of the Paper

UCHU Hanako (JAXA), KOKU Taro (Universe University)

### ABSTRACT

This part briefly describes the content of your paper as abstract. The purpose of the abstract section is to explain concisely the primary accomplishments of your study to give a big picture to the readers. The desirable length would be around 5-10 lines. The background of the study comes first. Then the objective of your work follows. In the summary of your accomplishments, the new achievements should be highlighted. The contributions of the present achievements to the research and industry fields then briefly mentioned with expected favorable effects.

#### 1. はじめに

流力ANSS後刷論文集の原稿は、このテンプレートを  
使用もしくは参照して作成すること。原稿はPDFファ  
イルに変換し、下記の提出先へ提出期限までに提出す  
ること。

**提出先：** <https://www.jsass.jp/egk/ryuriki/>

**提出期限：** 2021年9月17日（金）

以下、表1に原稿フォーマットや提出方法についてまと  
めた内容を示す。

表1 原稿フォーマット、および、提出方法

|                  |   |
|------------------|---|
| 原稿サイズ            | A4  |
| 原稿ページ数           | 原則 10 ページ以内                                       |
| 講演題目             | 題目(和文)は 16 ポイント、中央揃えと<br>する。 <b>講演番号は付記しないこと。</b> |
| 著者名              | 題目(和文)の後に 11 ポイント、中央揃<br>えで記載する。                  |
| 所属               | 氏名の後に括弧付きで記載する。                                   |
| 英文題目             | 和文著者名の後に 16 ポイント、中央揃<br>えで記載する。                   |
| 英文著者名            | 英文題目に続いて 11 ポイント、中央揃<br>えで記載する。                   |
| ABSTRACT         | 英文著者名の後に 9.5 ポイントで記載<br>する。                       |
| 本文文字サイズ          | 9.5 ポイントを基本とする。                                   |
| 提出ファイル<br>フォーマット | PDF ファイルに変換して上記の提出<br>先へ提出すること。                   |

#### 2. このテンプレートの使い方

##### 2.1. 書式

###### 2.1.1. 書式について

このテンプレートのタイトル、著者名、本文などは  
あらかじめフォントサイズなどの書式が設定されてい  
る。この書式を崩さずに入力すれば一行の文字数や1  
ページの行数など定められた形式で作成することがで  
きる。

また、章や節、項のタイトルが長く、複数行に渡る  
場合は、適当な箇所で段落に分けない改行（Shift +  
Enter）を挿入し見やすいように各自調整する。

###### 2.1.2. 書式を崩さないように入力するには

書式を崩さないように入力するためには以下の点に  
注意する：

- (1) このテンプレート以外のワードファイルから文章  
をコピーして貼り付ける場合は、書式を一緒に貼  
り付けないように注意する。元の文書で文字列を  
コピーしたあと、このテンプレートに「編集」－  
「形式を選択して貼り付け」コマンドの「テキス  
ト」を選択して貼り付けを行う。
- (2) 書式を崩してしまった場合は、段落内にカーソル  
を置き、「クイックアクセスツールバー」の「スタ  
イル」ボックスで指定したいスタイルをクリック  
する。または、執筆した箇所でスタイルが崩れて  
いない段落の書式をコピーし、崩れてしまった段  
落を選択し書式のペーストをする。「スタイル」ウ  
ィンドウを常時表示し執筆すると作業し易い。

### 3. 原稿執筆をするにあたり

#### 3.1. 原稿のページ数

原稿のページ数は10ページ以内とする。何らかの理由により10ページを超える必要がある場合、ANSS事務局担当まで問い合わせること。

また、1ページ内に1文字でもカラー印字の体裁となっている場合にはカラーページとしてカウントされ印刷代が余分にかかるため、特段の必要性がない限りカラー文字は使用しないことが望ましい。

#### 3.2. ヘッダー・フッター

ヘッダー・フッター部分については、何も記載しないこと。

#### 3.3. 概要 ABSTRACT

概要は英文とする。記載する順番は、和文題目、和文著者名、英文題目、英文著者名の後のABSTRACT以降に概要を記す。

#### 3.4. 謝辞

謝辞にはセクション番号を付けず、まとめや結論の後に記述する。

#### 3.5. 図、表、写真

図、表、写真については可能な限り鮮明なものを使用する。

図、写真のキャプションは、下部に記載し、表のキャプションは上部に記載することとする。

図、写真、表の配置は、適宜文章中に挿入する。

図1・図2、表1・表2、写真1などのように一連番号を

付するとともに、必ず題を付ける。

#### 3.6. URL (Uniform Resource Locator)

URLアドレスを参照する場合の記述形式は、執筆者名、表題、発行年月、URLアドレス、参照日の順とすることが望ましい。また、URLはワープロソフトの機能により自動的にハイパーリンクが付されることがあるが、ハイパーリンクを削除するか、文字列の下線を外した上で黒字表記にする。

#### 3.7. 参考文献

##### 3.7.1. 参考文献の記述形式

論文の最後にまとめて書き、番号のないセクションとし、章立て(番号)のないセクションに掲載するものとする。また、引用した際には本文中の右肩に上付き数字と半角閉じかっこ「）」にて「1)」等を付すること。

記載方法については以下の参考文献セクションに示したとおりとする。なお、本文中で引用している文献のみをここに挙げること。

#### 謝辞

必要に応じて記載する。

#### 参考文献

##### (1) 雑誌・レポートの場合

執筆者名、表題、雑誌名、巻数、発行年月、ページ

##### (2) 書籍の場合

執筆者(編者)名、書名、出版社名、巻(発行年)、ページ